

DII Program

'Solution Design Phase' SEMINAR

表題:ドラッカー哲学を大学発ベンチャー事業化に活かす
ー成功確率が高い大学技術の事業化ー

日時:2023年4月21日(金)16:30-18:00 **ハイブリッド(Zoom聴講も可)**

場所:名古屋大学 IB電子情報館 IB014講義室

講師:土井 尚人(株式会社イーベック 代表取締役社長)

言語:日本語

概要:

35歳でビジネスインキュベーター企業を起ち上げ、多くの大学発ベンチャーや企業の新規事業、新会社設立を研究者、経営者と共に進めてきました。

社会人大学院でピーター・F・ドラッカーの経営哲学に再会し、あらためて楽しく事業を行うことの重要性と技術を経営でいかすことで事業化する意義を再認識しました。大学にある技術は、大きなイノベーションのきっかけを作る力を持っています。新規事業だからこそ大手企業にも勝てる部分もあります。多くのテクノロジーベンチャーに関わる中で、今はイーベックという医薬用抗体開発の会社に特化して活動しています。

従業員8人のベンチャーがなぜ日本のバイオベンチャー

初の海外メガファーマとの大型取引(55ミリオンユーロ(当時のレートで88億円)+売上に対するロイヤルティ)を決めることができたのか?

その後、イーベックはどこに向かおうとしているのか、大学との連携の可能性についても講義します。



略歴:

安田信託銀行(現みずほ)において、関連事業や新会社の立ち上げを行う経営企画部門のほか、本店営業部などで融資・株式公開支援などに従事。

2002年、ビジネスインキュベーション企業「株式会社ヒューマン・キャピタル・マネジメント」を設立し、代表取締役就任。東証プライム上場企業から大学発ベンチャーまで、様々な会社の開業や新分野進出支援に携わるほか、大学、官公庁、金融機関が主催する経営塾、研修を企画・運営・講師として活動した。

複数のバイオ系、医療系ベンチャーの取締役として、早期に黒字化を実現する。

2003年1月に起業した株式会社イーベックにも取締役として参画、後に代表取締役社長に就任し、複数の製薬企業との契約等も実現した。

※事前申し込み (nishimoto.ichiro.d7@f.mail.nagoya-u.ac.jp) 4/20 17時まで